**23 『新唐書』**

唐の天宝十四年（七五五）、の乱が起こる。二年（七五七）には賊軍の将は（現省）を包囲。守将は、配下の〔＝南八〕らとともにして、よく敵を防いだが、奮闘むなしく睢陽は陥落し、張巡らは捕らえられた。

　巡　 、「我　ⓐ為二　　一　。ⓑ爾　レ　　　　　也。 レ　。」子　琦　二　　一、Ａ将レ　釈レ　之。、「　レ　　。　 二　　一。ⓒ且　二　　一。①レ　レ　。」　レ　　　、　巡　不レ　。又　二　　一、Ｂ未レ　応。巡　　、「南　八、男　児　　ⓓ爾。Ｃ不　可　為　不　義　屈。」霽　雲　　、「レ　レ　レ　　也。公　レ　　者、Ｄ敢　不レ死。」　Ｅ不二　肯　降一 。

ント

語　注

君父＝君主。

犬彘＝犬や豚。相手をって言う。

衆心＝多くの人の心。ここでは、兵士たちの心。

脅降＝脅して降伏させる。

問1　二重傍線部ⓐ～ⓓの読みを送り仮名も含めて平仮名で答えよ。（現代仮名遣いでよい。） （2点×4）

①〔　　　　　　　　　〕　②〔　　　　　　　　　〕

③〔　　　　　　　　　〕　④〔　　　　　　　　　〕

問2　波線部Ａ・Ｂについて、

⑴　それぞれ書き下し文に改めよ。ただし「釈」は動詞「とく」として読むこと。 （3点×2）

Ａ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

Ｂ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

⑵　それぞれ口語訳せよ。 （3点×2）

Ａ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

Ｂ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問3　波線部Ｃは「ふぎのためにくつすべからず」と読む。この読みを参考にして返り点を付けよ。 （2点）

不　可　為　不　義　屈

問4　波線部Ｄ・Ｅについて、

⑴　すべて平仮名でそれぞれ書き下し文に改めよ。 （3点×2）

Ｄ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

Ｅ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

⑵　それぞれ口語訳せよ。 （3点×2）

Ｄ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

Ｅ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問5　傍線部①とあるが、｢或ひと｣がこのように考えたのはなぜか。その理由を二つ答えよ。 （4点×2）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問6　本文の内容に合致しないものを、次から二つ選べ。 （4点×2）

ア　は賊将に向かって、お前たちは犬や豚同然だとり、じきに滅びるだろうと言い放った。

イ　張巡が激しくするのを聞いた尹子琦は、大いに腹を立て、直ちに殺そうとしたが、部下に止められた。

ウ　張巡は刃を突き付け脅されたが、決して降伏しなかった上に、部下にも降伏せぬようにと呼びかけた。

エ　は張巡に向かって、「男子たる者、義を守るためには潔く死ぬばかりです」と笑って決意のほどを述べた。

オ　南霽雲は張巡の呼びかけに対して、「自分には国のために為すべきことがあるので死ぬことはできない」と答えた。

〔　　　〕〔　　　〕

練習問題〈否定形〉

次の各文について、空欄を埋めて書き下し文を完成させ、口語訳せよ。

①　　　　隠　、不三　　二　山　一。

めてるのは、

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

始めて知った、本当の隠者は、

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

②　レ　　二　耕　一、顔　色　　不レ　。

をでてにへば、

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

門を出て百姓に会うと、

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

③　眼　見　心　　不二　　一。

るも（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

④　　山　二　老　一、　レ　二　夫　一。 ＊夫君＝あなた。

のをかる、（

）。

この山に年老いた身分も低い私を招いてくれた、

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）。

【解答】

問1　ⓐために　ⓑなんじ（ぢ）　ⓒかつ　ⓓのみ

問2　⑴A＝将に之を釈かんとす。　　B＝未だ応ぜず（応へず）。

　　　⑵A＝張巡を釈放しようとした。B＝まだ返答をしていなかった。

問3　不レ 可下 為二 不 義一 屈上

問4　⑴D＝あへてしせざらんや。（」と。）　E＝あへてかうせず。

　　　⑵D＝どうして死なずにおりましょうか。いや、死にます。

　　　　E＝降伏しようとしなかった。

問5　・義を守る人間なので我々の役には立たない。

　　　・兵士たちの心をつかんでいる。

問6　イ・オ

【練習問題解答+口語訳】

①必ずしも山林に在らず

　必ずしも山や林の中に住んでいるとは限らない（ということを）

②顔色必ず楽しまず　　表情は必ず楽しそうではない

③敢へて言はず　　眼に見て心で知っていても決して言ったりはしない

④敢へて夫君に謝せざらんや

　どうしてあなたに感謝せずにいられようか。いや、感謝します